



FOR IMMEDIATE RELEASE

Contact – Deb Pollack, deb@singervehicledesign.com +1.805.320.9248

「Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer」 ジャパンデビュー 富士スピードウェイにて開催

- 「Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer」 日本初上陸。
- 日本におけるシンガーのグローバルパートナーであるコーンズ・モーターズ株式会社が主催する年に一度の顧客向けイベント「CORNES DAY」にて公開。
- シンガーの最新サービスは、コスワース（Cosworth）のエンジニアリング協力によって開発された、420馬力の自然吸気フラット6エンジンを搭載。
- 1980年代の希少な911カレラのワイドボディモデルにインスパイアされ、心躍る高性能スポーツドライビングを追求。
- タイプ964のエンジンをベースに、4.0リッター、4バルブ／気筒、可変バルブタイミング、水冷シリンダーヘッド、空冷シリンダー、電動ファンを備えた生まれ変わったフラット6を搭載。
- オリジナルのタイプ964モノコックを核とし、レッドブル・アドバンスト・テクノロジーズと共同開発したシャシー強化を実施。
- ボッシュ（Bosch）と共同開発による最新世代のABS、トラクションコントロール、スタビリティコントロールを搭載。走行モード選択機能、6速マニュアルトランスミッション、後輪駆動を採用。
- 電子制御による減衰力調整機能を備えた4ウェイ・リモート調整式ダンパーによって、精密なスポーツハンドリングを実現。
- シンガーのClassicとDLSの展示も予定。
- CORNES DAYに参加する車両の画像および情報は、[こちら](#)からダウンロード可能です。



富士スピードウェイ（日本）－2025年10月8日－アメリカ発信日時

「Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer」は、カリフォルニアを拠点とするラグジュアリースペシャリスト「シンガー（Singer）」が、オーナーと協働してクラシックなポルシェ911をレストアし再構築する最新のサービスを代表するものです。

「**CORNES DAY（コーンズ・デイ）**」は、コーンズ・モーターズ株式会社が主催する年に一度のお客様向けの自動車の祭典で、2025年は10月19日に富士スピードウェイで開催されます。

ロブ・ディキンソン（Singer創業者／会長兼クリエイティブ・ディレクター）コメント

「1980年代、ポルシェ911カレラには、ターボモデルの迫力あるボディをまといながらも、自然吸気のフラットシックスエンジンを搭載した仕様を選ぶことができました。このモデルは“カレラ・スーパー・スポーツ・エクイップメント”として知られるようになりました。私たちのサービスはこの車をオマージュし、その時代を称えながら、21世紀のために再構築された究極の自然吸気Gモデル911を提案するものです。

その中心には、過去15年間の知見を結集し、可変バルブタイミング機構を新たに加えた素晴らしいフラットシックスエンジンが搭載されています。日本には熱心な911ファンが多く、このたび初めて『Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer』を日本の皆さまにご紹介できること、そしてオーナーの皆さまを支えてくださるコーンズ・グループの皆さんと再び一緒できることを大変うれしく思います。」

林 誠吾（コーンズ・モーターズ株式会社 代表取締役社長）コメント：

「このたび『Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer』を日本にお迎えし、10月19日午前10時より富士スピードウェイにて開催するプレスカンファレンス/トークショーで披露できることを大変うれしく思います。パネルには、シンガー創業者兼会長のロブ・ディキンソン氏、シンガー チーフテストドライバーのマリノ・フランキッティ氏、そして日産の元チーフデザイナーである中村史郎氏が登壇いたします。

今回の日本での発表は、今年夏に英国「グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピード」と米国「モントレー・カー・ウィーク／ザ・クエイル」でのデビューに続く、シンガーの最新レストレーションサービスとして世界で3番目のローンチとなります。」

イメージは[こちら](#)からダウンロードいただけます。



Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer について

レストレーションプロセス

このプロセスは、ポルシェ911（タイプ964）のオーナーが、自身の車をシンガーへ送り、パーソナライズされたレストレーションを依頼するところから始まります。

30年以上前にポルシェによって製造されたこれらのスポーツカーは、これまで多くのオーナーの手に渡り、何千マイルもの道のりを走り続けてきました。

レストレーションの最初のステップでは、オーナーの車を丁寧に分解します。インテリア、外装パネル、すべての機械部品が取り外され、スチール製モノコック（シャシー）が姿を現します。

このシャシーは慎重に点検・洗浄され、次の工程に最適な状態へと整えられます。

この段階では、Red Bull Advanced Technologies（レッドブル・アドバンスド・テクノロジー）と共同開発された補強技術を適用し、オリジナルのタイプ964モノコックの剛性を高めています。

レザー加工技術

Cornes Dayで展示される車には、シンガーならではの卓越したレザー加工技術が採用されています。インテリアには「ステッチ&バーニッシュ仕上げ」の革の縫い目が施されており、これは職人が手作業で長時間かけて革の縁を研磨し、塗装することで実現するものです。

1台の車の仕上げには、約400時間もの作業時間を要します。このステッチスタイルは高級レザーグッズの世界から着想を得たもので、シンガーの革細工技術の真髄を体現しています。

Cornes Dayで披露される車両はCeleste Passalacquaという色で仕上げられ、ステッチ&バーニッシュレザーと、Mars Pinkのベルベットコーデュロイを組み合わせています。

エンジンとトランスミッション

「Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer」に搭載されるエンジンは、長年にわたるポルシェ911での経験と、「DLS（Dynamics and Lightweighting Study）」プログラムで培われた知見を基に開発されています。このDLSでは、シンガー初となる4バルブシリンダーヘッドが誕生しました。

こうした専門技術を活かし、シンガーはタイプ964が持つ象徴的なフラットシックスエンジンの性能ポテンシャルをさらに追求。細心の最適化と再設計された4バルブシリンダーヘッドの開



発を通じて、クライアントのためにその可能性を拡張し続けています。

このエンジンの設計・開発は、Cosworth（コスワース）との共同プロジェクトであり、特に可変バルブタイミング、燃焼室設計、吸排気経路の最適化といった分野で、コスワースの卓越した経験が活かされています。

このエンジンには、いくつもの「初」が詰まっています。シンガーがレストアしたポルシェ911として初めて可変バルブタイミングを採用し、低回転域での扱いやすさと高回転域でのパワーを両立。シンガーが手掛けた自然吸気エンジンとして初めて水冷シリンダーヘッドと空冷シリンダーの組み合わせを採用。さらに、電動ファンを搭載し、DLS Turboプログラムから得た知見を反映しています。

これらの技術の融合により、4.0リッター水平対向6気筒エンジンは420馬力を発揮。より広い回転域でトルクを力強く発生し、さらに多くの国のオーナーがシンガーのレストアサービスを利用できるようになりました。

このエンジンは8000rpm超まで高回転を許容し、その領域を積極的に楽しめるよう、最適化された6速マニュアルトランスミッションを選択可能。

ギアシフターはメカニズムを露出させたデザインを選ぶこともでき、エンジニアリングの美しさを際立たせます。

また、新開発のチタン製エキゾーストシステムが、フラットシックス本来の伸びやかな吹け上がり、シンガーらしい官能的なサウンドを実現しています。

ロブ・ディキンソンのコメント

「1980年代、ポルシェは自然吸気のGモデル911カレラにワイドボディ仕様を設定しており、『Super Sport Equipment（スーパー・スポーツ・エクイップメント）』パッケージとして、高性能志向のドライバー、いわば“ハイパフォーマンスの真の鑑賞家”のために提供していました。

強化ブレーキやサスペンションを備え、力強い外観とともに、その走りを極めた仕様です。

“ホエールテール（大型リアスポイラー）”を付けたい人はそうできたし、付けたくない人はそれを選べた。

私たちはこのパッケージから着想を得て、最新のレストレーションサービスと特別なエンジンの居場所を創り上げました。

ハンス・メッツガーの傑作——それをレストアし、再構築し、再誕生させたものこそが、このクルマの心臓部に宿っています。」



シャシー

シンガーはRed Bull Technology Groupのハイパフォーマンスエンジニアリング部門、Red Bull Advanced Technologies（レッドブル・アドバンスド・テクノロジーズ）と協力。レストレーション工程の中で、オリジナルの964シャシーの剛性とねじり剛性を強化しました。Red Bull Advanced Technologiesは、世界トップレベルのシミュレーション技術と構造解析能力を活かし、964シャシーを徹底的に分析。その結果、複合素材とスチール補強材を組み合わせた強化システムを開発し、レストレーション初期段階で964モノコックに適用しています。オリジナルのタイプ964モノコックはそのまま車の中心に残されながら、この補強により最適化された基盤が形成されます。これにより、剛性が高まり、ハンドリング、ブレーキング、そして全体的な洗練性が大きく向上しています。

ヘリテージと最先端技術の融合

シンガーはカーボンファイバーの扱いにおける豊富な経験を活かし、ポルシェ911の象徴的なDNAを守りながらも、最先端のエンジニアリングと素材科学を融合させています。

1980年代のGモデルからインスピレーションを受けつつも、そのボディワークは美しさと機能性を両立させる形で再構築されています。

カーボンファイバーの採用により、軽量化と剛性向上を同時に実現し、シンガーのオーナーたちが期待する通りの鋭いレスポンスとドライビングフィールを提供します。

当時の「Super Sport Equipment（スーパー・スポーツ・エクイップメント）」から着想を得て、カーボンファイバー製のボディはワイド化されたフロントおよびリアのフェンダーを備えています。フロントには大型のディープフロントスポイラーを装着し、冷却性能と空力特性を最適化。さらに、リアフェンダー前端的インテークがエンジンルームへ効率的に冷却空気を導きます。

当時の911カレラと同様に、オーナーは象徴的な“ホエールテール”リアウイングの有無を選択可能です。固定式ウイング、または走行速度に応じて作動する可変式ウイングを選ぶことができ、高速走行時の空力的安定性を確保します。また、高性能の補助ドライビングライトも装着可能で、必要なときにフロントフードからせり上がるポップアップ式となっており、未使用時はボディと完全に一体化になるよう設計されています。

グラウンド・コントロール（走行性能の統合制御）

当時の911カレラと同様に、「Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer」では、エンジン性能を最大限に引き出すために、サスペンション、ブレーキ、ホイール、タイヤに至るまで高度に洗練されたアプローチが採用されています。これにより、条件が許す限り、ドライバーは圧倒的なペースで地面を駆け抜けることが可能です。



シンガーがターボチャージド・モデル向けに開発したサスペンションをベースに、しなやかさとスポーティさを両立するハンドリング特性を実現。新開発の4ウェイ・アジャスタブルダンパーは電子制御式で、ドライバーズシートから減衰力を自在に調整可能です。さらに、フロントを持ち上げるノーズリフトシステムも統合され、段差や坂道での走行性を高めています。

ブレーキには、DLS (Dynamics and Lightweighting Study) プログラムを通じて開発されたカーボンセラミックブレーキをオプション設定。これが18インチ・センターロックホイールの背後に収まり、圧倒的な制動力と耐フェード性能を発揮します。

20世紀末以降、タイヤ技術は飛躍的な進化を遂げており、最新のMichelin Pilot Sport (ミシュラン・パイロットスポーツ) タイヤを採用することで、路面へのトラクション伝達効率を最大化しています。ドライバーは以下の5つのドライブモードを選択でき、トラクションコントロールや電子制御スタビリティの介入レベルを路面状況や走行スタイルに応じて調整可能です。

運転者に焦点を当てたインテリア

シンガーのレストレーションおよび改造サービスでは、所有者が個人の好みに合わせて車の内装をカスタマイズできるよう、特注の塗装、レザー、素材仕上げを提供しています。軽量のスポーツまたはトラックシートもリクエスト可能で、上げられたギアシフターの仕組みと組み合わせて理想的なドライビングポジションを実現します。

運転手の前には、馴染みのある911の計器レイアウトがリイマジンされており、手作りの計器が高級時計の基準をキャビンに引き寄せています。シンガーは伝統的なレザー技術を巧みに駆使し、今回初めてキャビン全体のステッチやバーニッシュレザーの縫い目のリクエストにも応じています。テクノロジーは控えめに取り入れられ、ナビゲーションや電話接続も気付かれない形で組み込まれています。

パーソナライゼーション

すべてのPorsche 911 Reimagined by Singer と同様に、本プレスリリースに掲載されている車も、オーナーの個別の要求に合わせてカスタマイズされています。



仕様概要（ツーリング志向のオーナーを想定した一例）

- シャシー：タイプ964
- ボディ：カーボンファイバー製軽量ボディ（色：Celeste Passalacqua）
スピードアクティベーター・リアウイング（速度連動式）搭載
- エンジン：4.0L 自然吸気 フラットシックス（各気筒4バルブ／可変バルブタイミング付）
- トランスミッション：6速マニュアル
- 駆動方式：後輪駆動（RWD）
- ブレーキ：カーボンセラミックブレーキシステム
- 18インチ・センターロックホイール（ホワイト仕上げ）
- インテリア：カラーMars Pink（マーズピンク）、ステッチ&バーニッシュ仕上げのレザーシーム
- ベルベットコーデュロイのセンターを備えたスポーツシート
- エアコン、ナビゲーション、CarPlay接続対応

さらに、オーナーは前後のボディワーク両仕様を選択可能で、専用フライトケースにより、必要に応じて車両の構成を変更できる柔軟性を持たせています。

価格と販売状況について

すべてのレストレーションは一点ものであり、オーナーはシンガーと共に自らの911を設計・構築するプロセスの中で、希望する仕様とエンジニアリング内容を共有します。

そのため、価格は各オーナーが指定する仕様により異なります。「Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer」のレストレーションは、世界限定100台のみのコミッションとなります。

カスタマーエクスペリエンス

シンガーの顧客層は、世界でも最も審美眼とこだわりを持つドライバーたちです。

彼らは、シンガーの専門チームによる世界水準のサポートのもと、仕様決定からレストレーション、納車後のオーナー体験に至るまで一貫したサービスを受けられます。また、シンガーはGlobal Partner Network（GPN）を通じ、世界各地でローカルサポートを提供。

このネットワークには、世界有数の自動車スペシャリストが参加しており、北米・欧州・中東・アジア・オーストラレーシア各地域でのサポート体制を整えています。



編集者向け注記

サービスの呼称について

本プレスリリースに掲載されている車両を正しく表記する方法は以下の通りです。

Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer

正確な名称の使用にご協力をお願いいたします。

過去のリストアサービスについて言及される場合は、以下の表記が正しい名称となります。

- Porsche 911 Reimagined by Singer – Classic（初披露：2009年）
- Porsche 911 Reimagined by Singer – DLS（初披露：2018年）
- Porsche 911 Reimagined by Singer – Classic Turbo（初披露：2022年）
- Porsche 911 Reimagined by Singer – DLS Turbo（初披露：2023年）

Singerについて

2009年にカリフォルニアで設立されたSingerは、

「**A Relentless Pursuit of Excellence（卓越性の飽くなき追求）**」という理念を体現するブランドです。空冷ポルシェ911のオーナーとの協働によるオーダーメイドのリストアで知られています。

Singerの哲学は次のような価値観に基づいています：

- 高度にパーソナライズされたアプローチと卓越した仕上げ
- 世界で最も象徴的なスポーツカーへのオマージュとしての、アイコニックなデザインへの情熱的なこだわり
- 最先端のエンジニアリングと素材科学を、宝石のように精緻なディテールと融合
- カリフォルニア、そしてその自動車文化との深い結びつき

Singerの自動車サービスは、オーナーが公道およびサーキットのために、美しくアナログなスポーツカーをリストアすることを可能にしています。



Singer クイックタイムライン

2009年 – 会社設立。初のリストア車両をモントレイ・カー・ウィークで発表
2014年 – 初の四輪駆動およびタルガ仕様のリストア車両を完成
2017年 – 時計ブランド「Singer Reimagined」を設立
2018年 – DLS (Dynamics and Lightweighting Study) サービスを発表
2022年 – Classic Turboサービスを発表
2023年 – DLS Turboサービスを発表
2025年 – *Porsche 911 Carrera Coupe Reimagined by Singer* を発表

コーンズ・モータース株式会社

コーンズ・モータース株式会社は、日本における超高級輸入車のトップディーラーです。同社は、1964年にロールス・ロイスおよびベントレー、1976年にフェラーリの正規輸入代理店となり、日本の高級車市場の発展に大きく貢献してきました。2011年、自動車事業の拡大に伴い、同社はコーンズ・アンド・カンパニー・リミテッドから独立し、「コーンズ・モータース株式会社」として新たに設立されました。2013年にはランボルギーニの取り扱いを開始し、2018年にはグループ会社のC.P.S.株式会社がポルシェの取り扱いを開始しました。現在、同社はフェラーリ、ランボルギーニ、ロールス・ロイス、ベントレー、ポルシェの5ブランドの正規ディーラーとして、新車・中古車の販売および整備サービスを提供しています。2022年には「CORNES MOMENT」を"クルマってホント楽しい"というコンセプトのもとに立ち上げ、顧客が自らのクルマで参加できる多彩な体験型プログラムを展開しています。さらに2024年には、Singer社とのグローバルパートナーシップを締結し、顧客にさらなる感動的な体験を提供しています。

We would also like to draw your attention to the following information about Singer:

また、以下の情報についてもご注意ください。

Singer is not sponsored, associated, approved, endorsed nor, in any way, affiliated with Porsche Cars North America, Inc., or Dr. Ing. h.c. F. Porsche, AG. Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG is the owner of numerous trademarks, both registered and unregistered, including, without limitation, the Porsche Crest®, Porsche®, and the model numbers and names and the distinctive shapes of the Porsche automobiles, such as the federally registered 911 automobile. Any mention of Porsche Cars North America, Inc., or Dr. Ing. h.c. F. Porsche, AG. trademarked names or other marks is for purpose of reference only.

Singerは、Porsche Cars North America, Inc.およびDr. Ing. h.c. F. Porsche AGとは、いかなる形でもスポンサー関係、提携関係、承認、後援、または関連性を有しておりません。



Dr. Ing. h.c. F. Porsche AGは、登録・未登録を問わず多数の商標を保有しています。これには、Porsche Crest®（ポルシェ クレスト）、Porsche®（ポルシェ）、モデル名・モデル番号、そして911をはじめとするポルシェ車の特徴的な形状などが含まれます。

本リリース内で言及されるPorsche Cars North America, Inc.およびDr. Ing. h.c. F. Porsche AGに関する商標や名称は、参照目的のみに使用されています。